

■ ID Sheet の貼付け

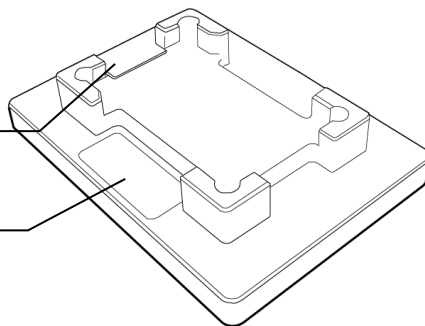
ID Sheet の貼り付けは、貼り付け用治具「PITATO」を使用します。

◆「PITATO」の銘板を手前にして置きます。

左側がひさし部分となります。

ひさし部

銘板



◆ID Sheet をライナーから剥がし、糊面を上にして

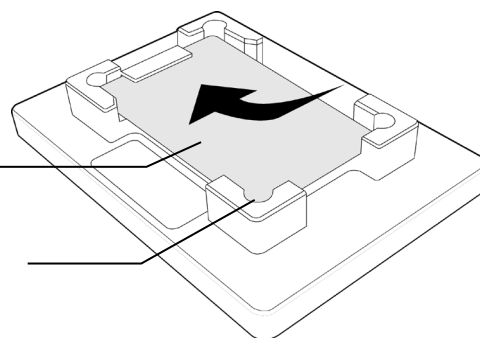
「PITATO」ひさし部の下側に滑り込ませた後、

ID Sheet の右手前が「PITATO」に接するよ

うにします。

ID Sheet

位置合わせ



◆カードの貼り付け面を下にして「PITATO」の

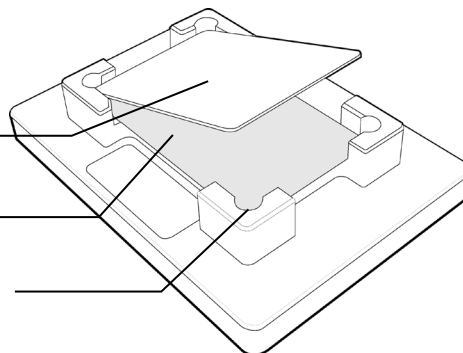
ひさし部の上にセットし、右手前に合わせ貼り付け

ます。

カード

ID Sheet

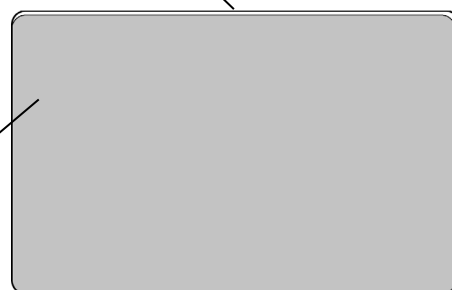
位置合わせ



貼り付け後のカードは上側と右側に若干の隙間ができます。

カード

ID Sheet



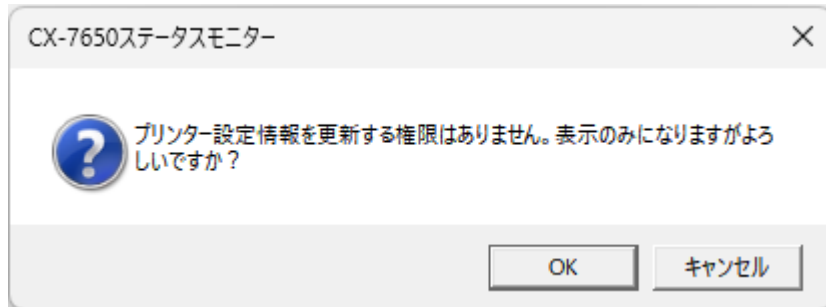
⚠ 注意

- ・カード表面が汚れていたり、ゴミ等が付着していると ID Sheet が綺麗に貼れません。
- ・カード表面を拭いてから ID Sheet を貼ってください。
- ・貼り付け後は、ID Sheet 面に圧力を加えたり、直接触れたりしないでください。
- ・貼り付け作業時および貼り付け後の作業を含め、作業中はゴム手袋を着用しないでください。
素材によっては、ゴム手袋との化学反応により印刷不良が発生するおそれがあります。

■ ステータスマニターからの設定変更

ステータスマニターで再転写設定の温度と速度を変更します。

- ① ID Makerの[プリンター設定]もしくは、デスクトップのショートカットから、ステータスマニターを起動します。
※以下のメッセージが表示された場合は、**Windowsの管理者アカウント**で起動する必要があります。



- ② ステータスマニター起動後、[再転写設定]のタブを開きます。

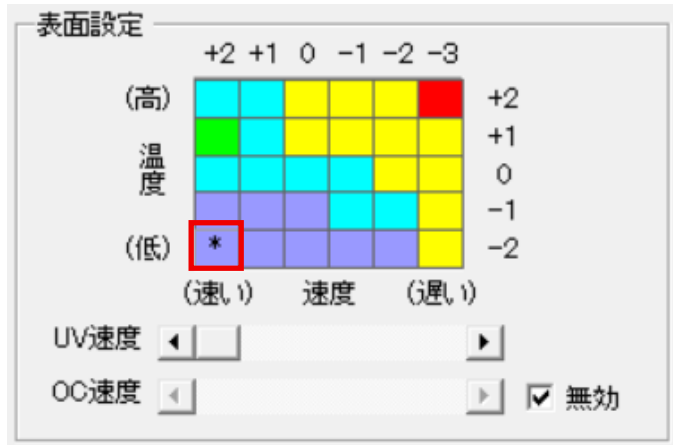
※初期設定値は以下となっています。
 温度(temp) : +1
 速度(speed) : +2
 ※ご利用状況により設定を変更している場合がございます。

説明:
 右上ほどカードへの転写力は強くなりますが、熱によるカードの変形が大きくなります。

③ **表面設定のみ推奨値**の温度(temp) : - 2、速度(speed) : + 2に「*」を変更します。

裏面設定も連動して「*」が移動しますが、操作上は無視してください。

※機体の状態により、推奨値の変更が必要な場合がございます。



※転写不良が発生する場合

温度(temp) : - 2、速度(speed) : + 1に変更します。



※上記でも転写不良が発生する場合

温度(temp) : - 1、速度(speed) : + 1に変更します。

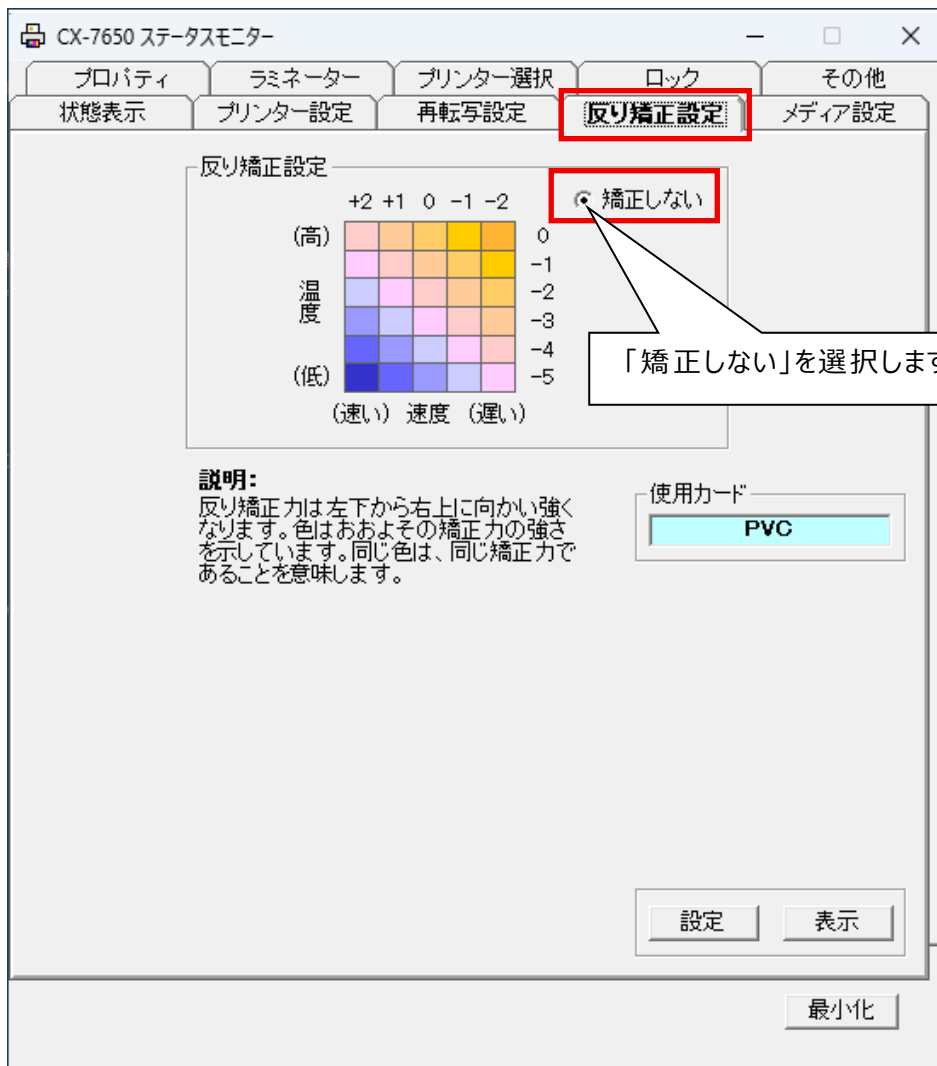


■ 反り矯正設定の変更

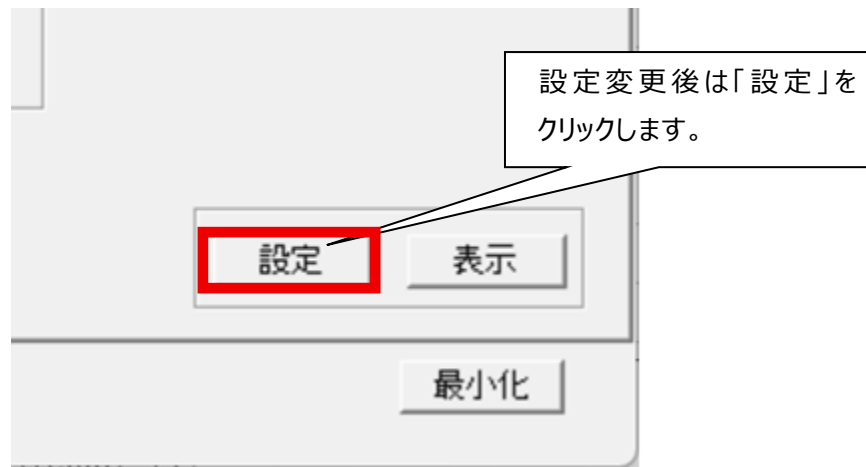
ステータスマonitorで反り矯正設定をオフにします。

※反り矯正は、本来片面印刷の際にカードの反りが発生するのを抑制する機能ですが、ID Sheetを使用する際は、プリンター内部での剥がれや詰まりの要因となるため、オフに設定します。

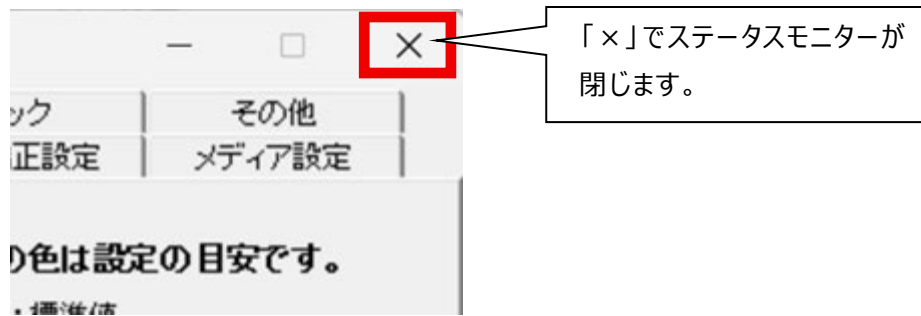
- ① ステータスマonitorの[反り矯正設定]のタブを選択します。
「矯正しない」を選択します。



- ② 設定変更後は右下にある「設定」ボタン押下



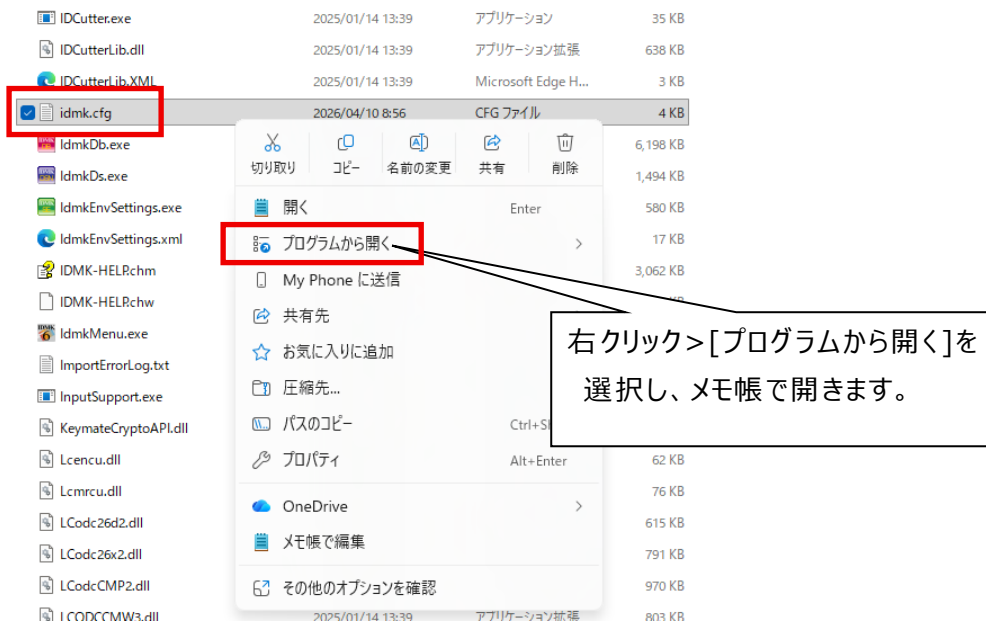
- ③ ステータスマニターを閉じます。



■ ID Maker の設定ファイルの書き換え

ID Maker の設定ファイルに[CoolingTime=5]を追記し、書き換えます。

- ① ID Makerがインストールされているフォルダから「idmk.cfg」を右クリックし、[プログラムから開く] > [メモ帳] を選択します。（ID Makerがインストールされているフォルダは、デスクトップ上のID Makerのショートカットアイコンを右クリック> [ファイルの場所を開く]をクリックすることで開きます）



- ② idmk.cfgを開いたら、[ENVIRONMENT]の項目を探し、最下行に[CoolingTime=5]を追記し、上書き保存してください。

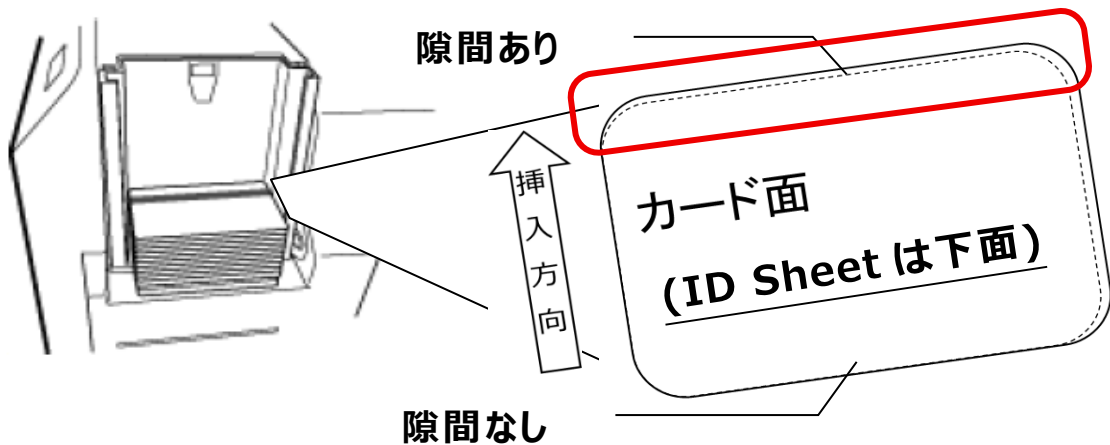
```
[ENVIRONMENT]
DataRef=oraclimp.ini
Photo Field Sort=0
JPEGflg=0
JPEGqf=0
JPEGFixImage=0
Sharpness=0
Encoder Com=1
MagType=1
Video Use=0
Barcode Com=1
Encoder Kind=2
Printer Kind=DCP3300
Scanner Mode=1
;ラベル印刷(臨時発行)：1、仮学生証発行(臨時発行)：2
SpecialPrint=0
;ピールオフの設定個数 1 OR 2 のみ
P_OFF=1
;可変フィールドの初期文字数(1~256)
VALSTR_LEN=16
CoolingTime=5
```

[ENVIRONMENT]内の既存項目は、ID Maker のバージョンによって異なりますが、編集の必要はありません。

この行を追記します。

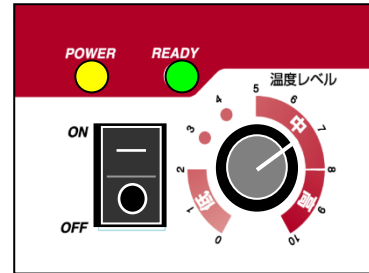
■プリンターにカードをセットする

- カードカセットの下側から順にカードをセットしてください。
発行を開始すると、一番下のカードから本体へ引き込まれていきます。
- ID Sheetの貼付け面は下側です。
- カード同士が付着して、カードが正しく供給されない場合は、
カードを軽く捌いてから印刷を開始してください。

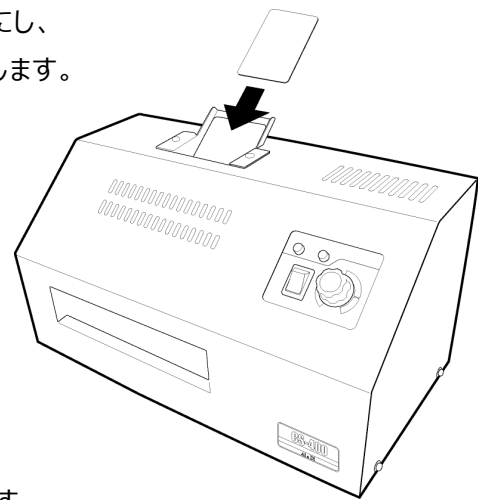


■ ID Sheet を剥がす

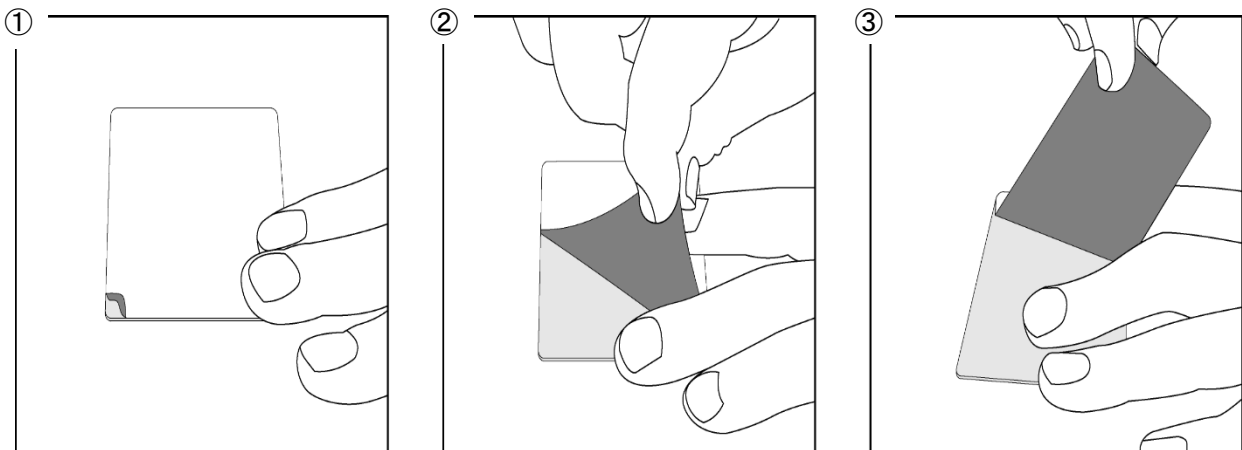
◆CS-410 の温度レベルを設定し、電源スイッチを ON にします。



◆READY ランプ（緑色）が点灯したら ID Sheet 面を上にし、挿入口にカードを縦方向（左寄せ）にして一枚ずつ挿入します。



◆下図の要領で排出されたカードから ID Sheet を剥がします。



- ① カードの隅から ID Sheet を剥がし始めます。
- ② 平らな場所でカードを押さえ、ID Sheet を引くようにして剥がします。
- ③ ID Sheet が完全に剥がれるまでカードは押さえ続けてください。

⚠ 注意

- ・ID Sheet が冷えてくると剥がれにくくなります。カード排出後、速やかに剥がしてください。
- ・剥がす際は、カードが変形しないようにカードを押さえながら剥がしてください。